

# 戦国武将 足利長尾の武と美

—その命脈は永遠に—

市立美術館・☎3131

2月11日(金)～3月27日(日)／午前10時～午後6時※入館は午後5時30分まで。

## 市立美術館

約150年続いた戦国時代、文正元年(1466)から天正18年(1590)まで120年以上にわたり足利の地を治めたのが足利長尾氏でした。各大名がしのぎを削り日々勢力域の変化する時代、歴代長尾氏は離合集散を繰り返しながら、各勢力のはざまに位置するこの地を治め続けたのです。



重要美術品長尾景長像(部分)  
長林寺蔵  
長尾景長(二代)の自画像



長尾但馬守居城之図  
長林寺蔵

明日をも知れない極度の緊張した時代背景の中、歴代足利長尾氏は独自の価値観と美意識を作り上げます。芸術文化そして学びを重視するその気風は、今に受け継ぐ『歴史と文化のまち足利』の源流といえるでしょう。

本展では、足利市制100周年記念事業として、歴代足利長尾氏が愛し、育み、その命脈を今に伝える多彩な芸術文化、そして先人たちの努力により脈々と足利学校へ受け継がれる学びの文化をご紹介します。

## 料金

高校生以上1,000円

※中学生以下、障がい者手帳をご提示の方は無料。特別料金のため、いきいきパスポートなど各種割引の適用はありません。

## 観覧は事前予約制です

▶予約開始日時=12月3日(金)／正午

▶予約方法=専用サイトで受付

※予約に関する詳細は、市ホームページをご覧ください。

## ご利用ください！ 来年2月号に掲載する観覧チケット

同チケットに必要事項を書いて受付で渡すと1家族4人まで無料※チケット利用は1回まで。

## 市民限定特別入館枠『市民の日』(休館日に合わせて特別開放)

予約不要ですが、上記観覧チケットが必要です。

▶2月=14日(月)・21日(月)・24日(木)・28日(月)

▶3月=7日(月)・14日(月)・22日(火)

※入館希望多数の場合、整理券を配布する可能性あり。

市民の日=予約不要 市民の日以外=要予約



重要文化財九州日向住國廣作(山姥切国広)  
天正18(1590)年  
長尾顕長(六代)が国広に作らせた名刀。

# 特別展・戦国武将 足利長尾の武と美 関連事業

## 講演会

市立美術館・☎④3131

申込 2月18日(金)(必着)までに同館(〒326-0814足利市通2-14-7)あて往復はがきで郵送

【往信裏面】住所、氏名、電話番号、希望講演会名を記入

【返信表面】返信先の郵便番号、住所、氏名を記入

※1通につき1人まで申し込み可能。

料金 無料

### 戦国時代の関東水墨画 ～雪村周継の足跡～

日時 3月19日(土)／午後2時  
会場 市民プラザ101・102会議室  
講師 栃木県立美術館技幹兼学芸課長  
橋本慎司さん  
定員 抽選60人

### ながおあきなが 長尾顕長とその時代

日時 3月20日(日)／午後2時  
会場 市民プラザ小ホール  
講師 伊勢崎商業高校教諭  
青木裕美さん  
定員 抽選60人

特別展や予約受付、関連行事に関する詳細・最新情報は、市ホームページに随時掲載します。



▶刀 晴雲齋源景國(栃木県指定文化財)



▶重要美術品 日州住信濃守國廣作(布袋国広)  
天正18(1590)年  
公益財団法人足利市民文化財団蔵  
国広が足利学校で作刀。



## 資料展示

### 足利の戦国時代

文化課・☎⑩2230

パネルなどで戦国時代における足利の状況および市内に遺る城館跡や遺跡を紹介するとともに、発掘調査により出土した資料を展示します。

期間 2月11日(金)～3月27日(日)／午前10時～午後3時※入館は午後2時30分まで。月曜日休館(祝日の場合は翌日)

場所 ふるさと学習・資料館(小俣町)

料金 無料

解説 2月13日(日)、3月6日(日)／午後1時30分～2時30分※事前申込不要。

### 足利学校打の刀剣

史跡足利学校事務所・☎④2655

足利学校は、わが国唯一の公開学校として戦国時代に最盛期となり、戦国武将や軍師が憧れる場でした。戦国時代、足利学校で国広が打った脇指にならって、後の時代の刀工たちがこの場所での作刀を試みます。

本展では、足利学校で打たれた『刀 晴雲齋源景國(栃木県指定文化財)』などを展示します。

日時 2月11日(金)～3月27日(日)／午前9時～午後4時30分※受付は午後4時まで。2月16日(水)、3月16日(水)は休館。

会場 史跡足利学校遺蹟図書館

料金 要参観料